

保津川開削 420 年記念 亀岡市文化資料館 特別展
「丹波と都をつなぐ 角倉了以・素庵の挑戦」
を開催します



京都府亀岡市(市長:桂川孝裕)は、亀岡市文化資料館において、令和8年9月12日(土)から12月13日(日)まで、第42回特別展「丹波と都をつなぐ 角倉了以・素庵の挑戦」を開催します。

■特徴:江戸時代に京の豪商・角倉了以・素庵父子が挑んだ保津川開削

今年は、角倉了以・素庵が保津川を開削してから420年になります。それまで保津川には筏は流れていましたが、巨岩や急流により、舟を通すことは困難でした。江戸時代の京都の豪商・角倉了以とその子・素庵は、朱印船貿易などで得た巨額の私財を投じて、保津川の開削に挑みました。岩を烈火をもって焼き砕き、石を集めて水深を深くするなど、人の力と知恵を尽くして荷舟を通すことに成功しました。

今回の特別展では、角倉了以・素庵の挑戦と、そのことが丹波・亀岡、京の都にどのような影響を与えたのか、様々な資料展示で紹介します。あわせて、保津川開削 420 年記念フォーラムやワークショップ、連続講座(全3回)、フィールドワークなどの関連イベントを開催します。

【本件に関するホームページ】 <https://museums.city.kameoka.kyoto.jp/>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 生涯学習部 文化芸術課 文化資料館 担当副課長:土井(トイ)

TEL 0771-22-0599 E-mail: bunka-siryokan@city.kameoka.lg.jp

■保津川開削420年記念特別展の概要

保津川の昔の姿から開削の舞台裏、亀岡・丹波が果たした役割、現代にも受け継がれる舟運の技術を四つの章で紹介しします。人々の知恵と挑戦をひもときながら、丹波と都を結んだ歴史と、その意義に迫ります。

事業名	保津川開削420年記念 特別展「丹波と都をつなぐ 角倉了以・素庵の挑戦」
日時	令和8年9月12日(土)～12月13日(日) 開館時間：午前9時～午後4時30分 (10月27日(火)～29日(木)は、展示替えのため休室)
会場	亀岡市文化資料館 展示室Ⅰ・Ⅱ(京都府亀岡市古世町中内坪1)
料金	一般 400 円 中学生以下無料 団体割引(30 名以上)・1割引 亀岡市文化資料館友の会会員、障がい者手帳をお持ちの方とその介護者の方は無料 11月14日(土)・15日(日)は、関西文化の日のため無料 大丹波ドライブスタンプラリーで「伝統・文化・歴史景観スポット」として当館でスタンプを取得された方は入館料半額
関連事業	・保津川開削 420 年記念フォーラム 日時等 9 月 19 日(土)13 時 30 分～15 時 30 分 ガレリアかめおか 2 階大広間 第一部 基調講演 若松正志さん(京都産業大学教授) 第二部 講演 豊田知八さん(保津川遊船企業組合代表理事) 第三部 質疑・対談セッション 司会進行 海平和さん(KBS 京都アナウンサー) ・苔テラリウムワークショップ～保津川溪谷の風景をつくろう～ 日時 11 月 14 日(土) ①10 時～正午 ②13:30～15:30 参加費 1,500 円 場所 亀岡市文化資料館 定員 各回10人 ・学芸員による展示解説 10 月 24 日(土)、11 月 14 日(土)、12 月 12 日(土) いずれも 10 時～11 時 ・角倉了以・素庵の理解を深める連続講座(全 3 回) ・角倉了以・素庵の足跡をたどるフィールドワーク 保津川下りを体験し、嵐山到着後、角倉家ゆかりの地を巡ります

【本件に関するホームページ】 <https://museums.city.kameoka.kyoto.jp/>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 生涯学習部 文化芸術課 文化資料館 担当副課長：土井（トイ）

TEL 0771-22-0599 E-mail : bunka-siryoukan@city.kameoka.lg.jp